

令和7年 神奈川県広報コンクール最優秀作品の概要

1 【広報紙・市部】 小田原市「広報小田原」(12月1日号)

【主たる記事の掲載意図】

戦争の悲惨さを風化させることなく、命の尊さや平和を次世代へ継承する意義について考えることを目的に、タイトルを「未来につなぐ平和のバトン」としました。

具体的には、小田原の地で実際に戦争を体験しており「小田原ふるさと大使」としても活動するアニメーション映画監督・富野由悠季さんと市長による特別対談「平和を願う思い」を通じて、平和な未来への道筋を探っています。

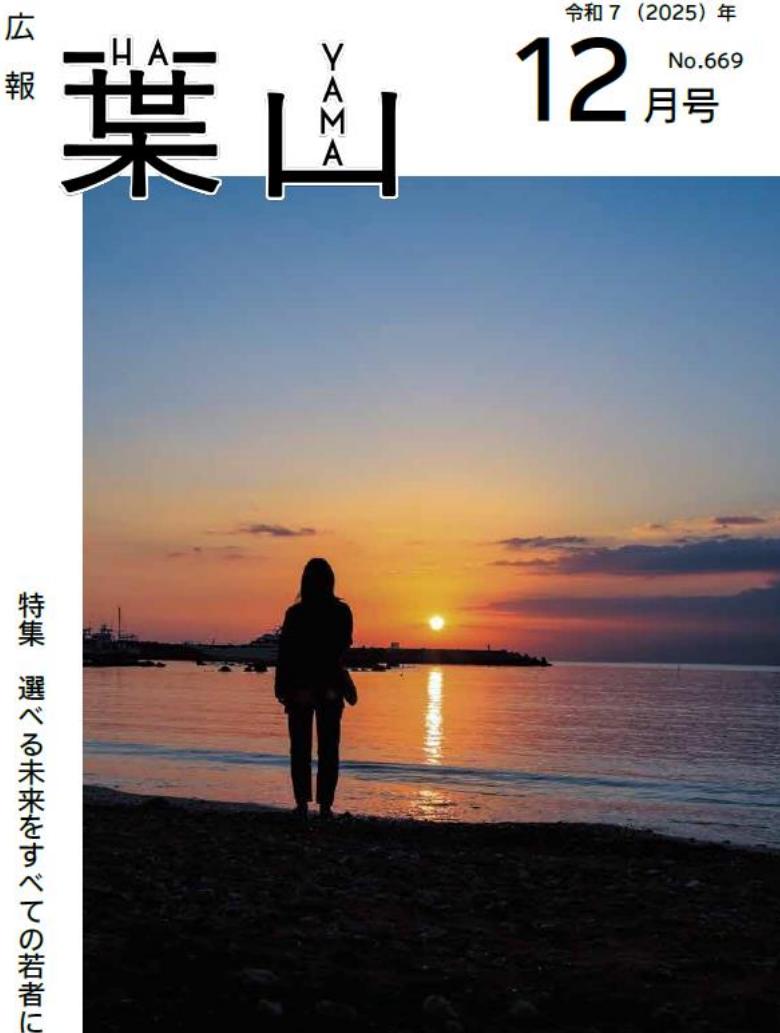
また、「戦後80年事業」の一環で行われた「中学生沖縄派遣事業」では、市内在住の中学生24人が沖縄を訪問し、戦争の歴史や命の重みを学びました。その中から代表として5人の生徒が、派遣を通じて感じた平和への願いや得られた学びを語っています。

【講評】

特別対談は、80年前に戦争に突入していくムードと現代の風潮から感じられる漠然とした危うさをすくい取っています。若い人たちに「考える大切さ」「想像力を働かせる重要性」を訴えかけている好企画です。中学生という「未来」を象徴させる存在を紙面に掲載することで、老若男女様々な人を巻き込み、世代を超えて次世代へつなぐ大切さを教えてくれています。

また、写真の使い方やレイアウトも読みやすさを十分に意識したものとして評価できます。

2 【広報紙・町村部】葉山町「広報葉山」(12月1日号)



【主たる記事の掲載意図】

若者が安心して自分らしく生きられる町を目指し、町民一人ひとりが自分にできることを考えてもらえるよう、特集記事「選べる未来をすべての若者に」を掲載しました。

「18歳の壁」とも呼ばれる制度の空白は、当事者も周囲も気づきにくい課題です。そこで実際に寄せられる若者の声や支援の現状についてお話を伺い、「困っていても声を上げられない若者がいる」という現実を取り上げ、その声に気づくためには、町民皆さんとの小さな行動から始められるということを呼びかけています。

また、「人権」という言葉に堅苦しさを感じる方もいるかもしれません、「人として大切にされること」は特別なことではなく、日々のあいさつなど小さな行動の積み重ねから育まれるものだということを人権擁護委員の方へ取材しました。

制度の紹介だけでなく、地域の中にある見えにくい課題をすくい上げ、町民同士のまなざしや関わり方を見つめ直すきっかけとなるような紙面づくりを心がけました。

【講評】

支援の狭間について多様な視点からアプローチするとともに、相談したい・応援したいと思わせる行動促進への発想は十分に評価できます。見出しあは優しい響きの言葉を選んでおり、優しい包み込むような表情している方々の写真も良く、この特集のメッセージが伝わってきます。全体を通じて軽らかい色味の下地で、文章やレイアウトも読みやすく、メリハリのきいた紙面になっています。

3 【広報写真（一枚写真）】茅ヶ崎市「広報ちがさき」（9月1日号）



【掲載意図】

消防隊員のトレーニングの一場面を捉え、「命を守る舞台裏」を象徴的に撮影しました。隊員たちの動きと背景の車両をバランスよく構図に収めました。屈強な隊員の姿と天井の梁をリンクさせることで力強さを表現し、F値6.3に設定することで、被写体全体に適度な深度を持たせつつ、背景の防火衣やヘルメットを静かに映り込ませたことで、日々の緊張感と使命感を表現しました。ISO200で自然光を活かした柔らかい質感を保ちながら、ティールアンドオレンジの色使いにより、隊員の存在感と救助車両の鮮烈さを際立たせ、視覚的に印象深い構成としました。

【講評】

伝えたい情報が写真の中に巧みに設計され、確かな撮影技術とともに表現されている点が印象的です。一目見ただけで惹かれる作品で、消防隊員の表情から優しさや守ってくれる安心感などが伝わってきます。

4 【広報写真（組み写真）】平塚市「広報ひらつか」（1月3日号）

広報ひらつか 第126号 平塚市役所 TEL:0463-8686 平塚市浅間町9-1 ☎0463-23-1111 ☎0463-23-9467

■応募方法 ①令和7年1月をもって引退する、JR東海の通称ドクターイエロー（T4編成）と富士山

■電子申請システム ■問い合わせ ■予約受付 令和7年1月3日発行

市内のみ込まれていく富士山 田畠と富士山 金目川と富士山 ④令和7年1月をもって引退する、JR東海の通称ドクターイエロー（T4編成）と富士山

市内には、富士山がきれいに見える場所がたくさんあります。お気に入りの富士見スポットを見つけて出かけてみませんか。撮影する場合はマナーを守って撮りましょう。

紹介した富士見スポットはここ！

①東畠田 ②ひらしん平塚文化芸術ホール ③湘南銀河大橋 ④平塚海岸 ⑤湘南平 ⑥大島 ⑦片岡の吾妻橋 ⑧駒ヶ嶺 ⑨ひらつかタマ三郎漁港 ⑩市役所屋上から望む日没後の富士山

日常の風景に溶け込み、普段はあまり気に留めないとしても、ふと見上げるとその美しい姿に思わず心奪われる……。富士山はそんな存在ではないでしょうか。穏かで優雅な富士山は、はっきりと見えることが多いですが、空気が澄んでいる冬の時期、空にそびえ立つ富士山を堪能できます。

平塚の富士

②ひらしん平塚文化芸術ホールから望む夕暮れの富士山 ③湘南銀河大橋と富士山 ④平塚海岸でのダイヤモンド富士

平塚の海のシンボル「平塚沖合実験タワー」と「湘南ひらつかビーチセンター」の間に富士山

平塚の人々と富士山

日本の象徴 幸せ

平塚市役所のウェブ

【掲載意図】

平塚市は海・山・川・田といった自然に恵まれ、それらと富士山を組み合わせた風景が市内の随所で楽しめます。わがまちへの誇りと愛着が一層育まれるよう、湘南地域の富士見スポットとしての魅力を、季節・場所・時間を変えて写真に収めました。主役に据えたのは①令和7年1月引退のJR東海のドクターイエローと富士山の組み合わせです。ロケハンを重ね撮影場所を絞りました。②は富士山の下に銭湯「富士の湯」の看板を入れ遊び心を加えています。③～⑩は美しい市内の自然や構造物と富士山の組み合わせです。県内一の米どころである平塚の田と富士山の組み合わせは、平塚らしさにあふれた風景です。⑩の漁港から見た富士山も、市民なじみの構造物を入れ込み平塚らしさを出しました。

【講評】

各所から撮られた様々な富士山は構図も良く、その表情や美しさは高い撮影技術です。平塚市から見える富士山を「平塚の富士」といかにも富士山を自分たちのものにしている表現が印象的で、郷土に対する柔らかな愛を感じさせる仕上がりです。

5 【映像】厚木市「相模人形芝居～伝統文化を誇れるまち、厚木～」



【主な内容・あらすじ】

厚木市に古くから伝わる郷土芸能である「相模人形芝居」に焦点を当て、伝統を受け継ぐ人々の姿を映像化しました。江戸時代中期から続く技法や舞台裏の様子を織り交ぜ、人形操る手元や表情、舞台全体の動きを丁寧に描くことで、市内に伝わる伝統芸能の魅力を多角的に表現しています。座長へのインタビューでは、280年にわたり文化を守り継ぐ責任や次世代への思いを伝えることで、市民の郷土への誇りにつなげられる作品としました。



【制作意図】

国指定重要無形民俗文化財である「相模人形芝居」の魅力を文化芸術に関心のある市内外の方、次世代を担う若い世代に向けて発信し、市内に伝わる伝統芸能の認知を拡大することを目的に制作しました。公演前の緊張感や終演後の安堵の表情など、人形を生きたように操る演者たちが舞台裏で見せる人間らしさを伝えています。ナレーションは用いずに座長自身の言葉で全体を構成し、伝統を受け継ぐ責任の重みと演者たちの人間味が伝わる映像表現を目指しました。

【講評】

つかみのテンポもよく、「相模人形芝居」の伝統を担う老若男女のメンバーの語りも自然でついつい聞き入り、熱い想いが伝わり、一度見に行こうかと思わせる仕上がりです。